



『楽しく充実した』放課後を過ごすためには



岩内西小学校長 古館 昭仁

初夏の風も爽やかな季節となりました。今月は交通安全教室、避難訓練などの「安全指導に関する」行事やふれあい班集会、児童会活動、遠足などの「自主性を育てる異学年交流に関する」行事が多くあり、それらの教育活動を通し子供たちがまた一つ大きく成長したと感じております。5月18日に実施した避難訓練では、外への避難にほとんどの児童がおしゃべり無しでの素早い行動が素晴らしかったです。さらに、雑巾で上靴をきれいにして学校に入る際も、無言で順番を待って行うなど、自ら「今必要なことは何か」をしっかり考えて行動する姿が大変すばらしいと感じました。

さて、先月の参観日にお渡しした新しい「家庭学習の手引き」を使用しての家庭学習は進めていただいておりますか？教科書の何ページを見るとその学習ができるのか等が記載していますので、ぜひ使ってみて、その感想を学校まで教えてほしいと思います。

保護者の皆様の中には「我が子が自ら自主学習を進めてくれるようになるといい」と感じている方もいると思います。遠藤奈央子著『自分でできる子』に育つ放課後の過ごし方(講談社)にそのヒントになりそうなことがありましたので一部紹介します。

- ・「おうちの放課後ルール」を決める(一日にすべきことを予め決めておく)
 - ※ 低学年は3つ程度(例:自主学習をする お手伝いをする 9時までに寝る)
- ・自主学習の目安時間は「学年数×20分」(本校では学年数×10分以上)
 - ※ 低学年は連続でなく細切れでもOK
- ・「睡眠時間は10時間(低学年)」から逆算しての「1日のスケジュール」づくり
- ・家に帰ったら、まず自主学習をすませる
- ・細切れの一コマに何を学習するか先に決めておく(漢字・計算・その他)
- ・1日の最後の5分はお母さんお父さんと一緒にチェックする時間に充てる

この本には子供が自ら行動するようになるための「親からの声掛け」などの効果的な方法も載っています。例えば、①やっほしい行動には理由を付けない(理由をつけるとヘリクツ合戦になる)②ネガティブな伝え方はしない(×)「ご飯が食べられないなら、デザートのいちごはなしね」(○)「ご飯を食べ終わったら、デザートにイチゴをあげるね」等、子育てのヒントになりそうなことがたくさん載っています。興味のある方は上記に紹介した本をぜひ読んでみて下さい。

【学校教育目標】

伸びる喜びを見つけよう

【今年度のテーマ】

にっこり西校～真心を込めて～

学んでにっこり
わかってにっこり

【具体的な取組】

⑤「家庭学習」(学年数×10分以上)